

付属資料・目次

特記仕様書（抜粋）	特 1
現場説明付記事項	1
ピット伏図（改修前後）	2
1階平面図（改修前後）	3
2階平面図（改修前後）	4
3階平面図（改修前後）	5
4階平面図（改修前後）	6
5階平面図（改修前後）	7
屋上階平面図（改修前後）	8
外構平面図（改修前）	9
外構平面図（改修後）	10
立面図(1)（改修前後）	11
立面図(2)（改修前後）	12
立面図(3)（改修前後）	13

機械設備工事特記仕様書

京都大学（南部）総合研究棟（医学部C棟）等改修その他機械設備工事

I 工事概要

1. 工事場所 京都府京都市左京区吉田橋町（京都大学医学部構内）
2. 完成期限 令和9年3月31日（水曜日）
ただし、財政法の定めによる承認を得た場合は、令和9年5月14日（金曜日）まで延長する予定である。

3. 建物概要

建物名称	医学部C棟	管理棟	医学部D棟		
工種	模様替	模様替	模様替		
構造	RC造	RC造	RC造		
階数	地上5階	地上2階	地上5階 地下1階		
建築基準法による	建築面積(m ²)	893	837	820.19	
	延べ面積(m ²)	3,854	1,459	4,805.67	
消防法施行令別表第一の区分	(7)	(7)	(7)		
改修面積(m ²)	3,854	-	-		

4. 工事種目（●印の付いたものが対象工事種目）

工事種目	建物別及び屋外				
	医学部C棟	管理棟	医学部D棟	屋外	
● 空気調和設備	－ 式				
● 換気設備	－ 式				
○ 排煙設備					
● 自動制御設備	－ 式			－ 式	
● 衛生器具設備	－ 式				
● 給水設備	－ 式	－ 式	－ 式	－ 式	
● 排水設備	－ 式			－ 式	
● 給湯設備	－ 式				
● 消火設備	－ 式		－ 式		
● ガス設備	－ 式				
○ 雨水利用設備					
● 撤去工事	－ 式	－ 式	－ 式	－ 式	

II 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 国立大学法人京都大学契約事務取扱要領(平成16年4月1日財務担当理事裁定制定)別記1の工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書によるほか、○のついたものを適用する。

- 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。)
- 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
- 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「標準図」という。)
- 文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準)(令和7年版)(以下「文科仕様書」という。)
- 工事写真撮影要領(令和5年9月)

- 施工条件 ・ 本工事建物周囲には、研究棟や住宅等が立地することを十分認識し、周辺への影響に配慮すると共に、安全にも十分配慮すること。
(第1編1.3.3) ・ 工用地および工用地周辺において適切な養生・清掃を行うこと。また、工事車両の搬出入時などに[第1編1.3.3] 周辺道路等を汚損、破損等した場合は速やかに対応すること。
・ 騒音・振動・粉塵の発生する作業は、低騒音・低振動・低粉塵工法を採用すること。
・ 臭気の発生する作業は、周囲に対して影響が少ない工法を採用すること。
・ 学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。
・ その他、学内行事等による作業の中止については、監督職員と協議すること。
・ 工事車両の通行は交通整理員を配置する等、安全対策を講ずること。
・ その他建物内や敷地周囲に影響があると思われる作業については、監督職員と協議を行い進めること。
・ 工用地内の環境美化(草刈り等)に努めること。
・ 構内実施中、又は実施が決定した他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
・ 断水作業日については、監督職員と協議して決定するものとする。

工事名	京都大学（南部）総合研究棟（医学部C棟）等改修その他機械設備工事		図面番号
図面名称	縮尺	設計日	特 1
特記仕様書（抜粋）	-	令和8年 7月	

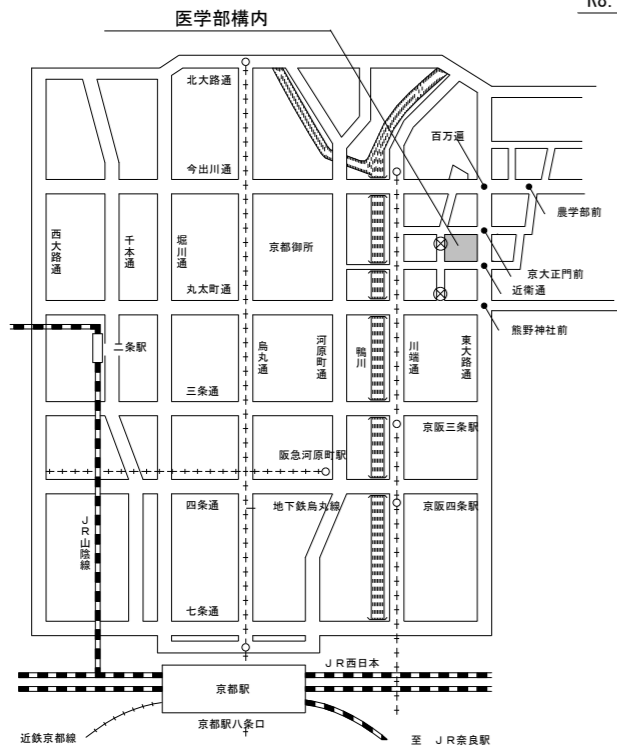
現場説明付記事項

1 工事施工上の注意事項

- 1) 車両通行経路は、図示の通りとし監督職員と協議の上、誘導員等を配置し、交通整理を行うこと。
工事車両は周辺道路上での違法駐車は行わないようにし、また路上に縦列待機させることも行わないこと。
- 2) 工事用地は図示の範囲とし、危険防止のため関係者以外の出入りができないようにすること。また、工事関係車両（通勤車両を含む）は工事用地内に駐車することを原則とし、構内の駐車エリア、道路及び空地への駐車は行わないこと。
- 3) 学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。
以下の日程は試験及び行事予定日のため、作業中止日として、工事の計画を立てること。
・令和8年11月20日、11月21日、11月22日、11月23日（11月祭）
・令和8年12月12日（特色入試）
・令和9年1月16日、1月17日（大学共通テスト）
・令和9年1月23日、1月24日（追試験）
・令和9年2月25日、2月26日（一般入試）
その他、学内の試験等による作業の中止については、監督職員と協議すること。
- 4) 撤去工事その他大きな音、振動等が生じる場合は、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承諾を得て工事を進めること。また、施工中の防音対策を十分に検討し行うこと。
- 5) 教職員、学生等の通行が頻繁なため、構内車両通行には徐行の徹底等、十分注意するよう指導を行うこと。
- 6) 埋蔵文化財を発見した時は、ただちに工事を中止し、監督職員の指示を受けること。
- 7) 工事場所内に火災予防のため適切な数量の消火器を設置するとともに、工事関係者に対し、火災等の取り扱いに十分注意するよう指導を行うこと。
- 8) 支障となる地中埋設物を発見した時は、監督職員と協議の上撤去し、適正処分すること。
- 9) 工事用地は、除草等常に良好な環境を保持すると共に工事完成時には原状に復帰して返還すること。
- 10) 同一構内の他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
- 11) 作業時間は、午前8時から午後6時を原則とすること。
- 12) 構内における喫煙については、監督職員と協議のうえ、健康増進法（平成十四年法律第百三十三号）第二十五条の五に基づく受動喫煙対策を講ずること。

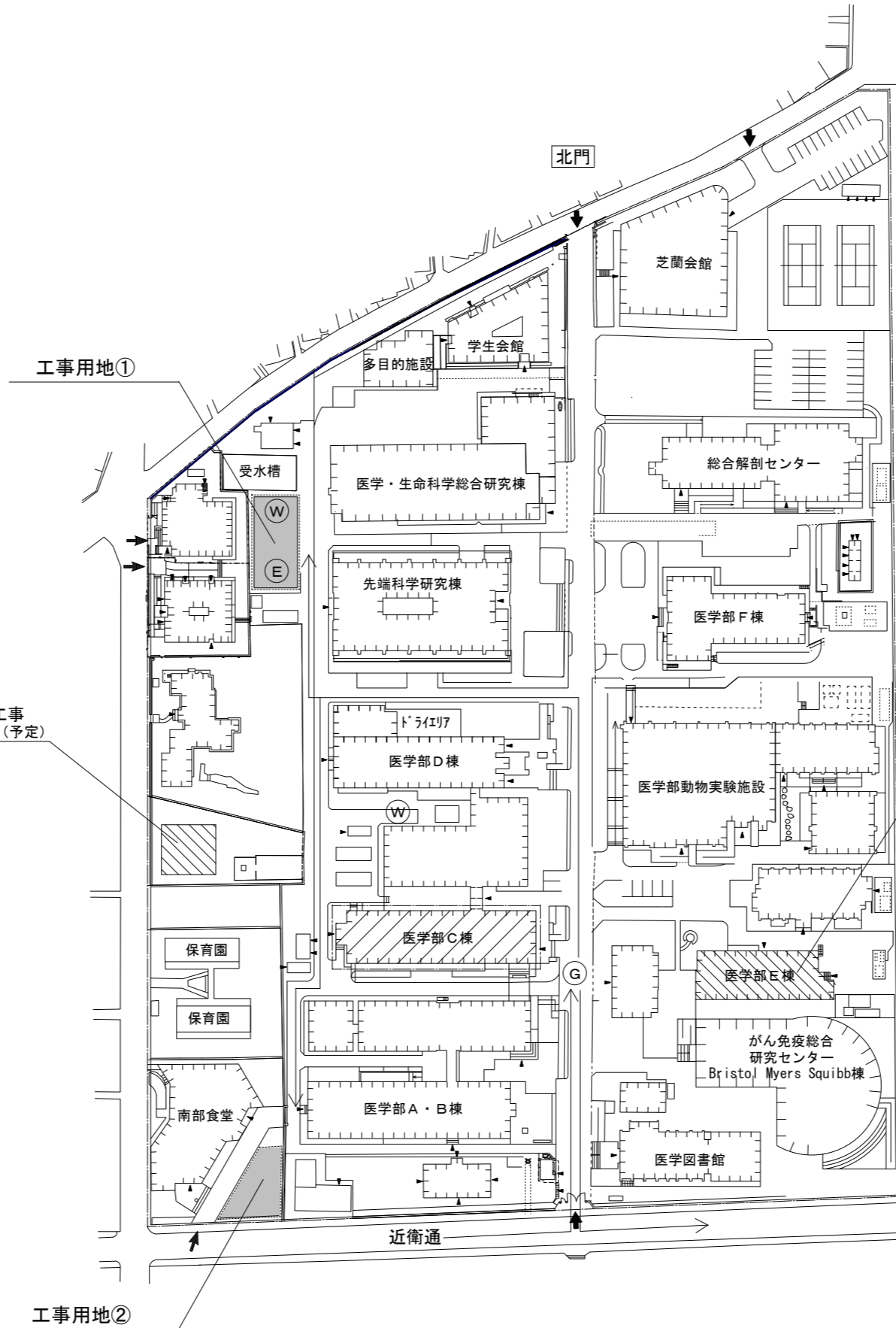
2 工事中の構内安全対策について

- 工事中の構内安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けるものとする。
- 1) 監督職員と協議の上、構内要所に工事予告板、警戒標識板、交通規制標識板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。
 - 2) 掘削時等で危険な状態となる箇所には、安全柵、工事中表示板（点滅灯付）を、夜間は保安灯及び赤色回転灯を設置し、安全な状態を確保すること。
 - 3) 構内通行の安全及び騒音防止のため工事用車両は徐行すること。
 - 4) 大型車両の構内通行に際し、地中埋設物、マンホール等は必要に応じ養生を行うこと。
 - 5) 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。
 - 6) 仮囲いの設置に伴い、構内通路の視認性が確保できない場合は、常夜灯及びコーナ部に透明パネルを設置するなど安全確保に努めること。
 - 7) パネルゲートには電子音つき回転灯を設置するなど事故防止に努めること。



案内図

宿泊施設新営工事
R8.3月～R9.7月（予定）



構内配置図 (S=1/850)

東大道路

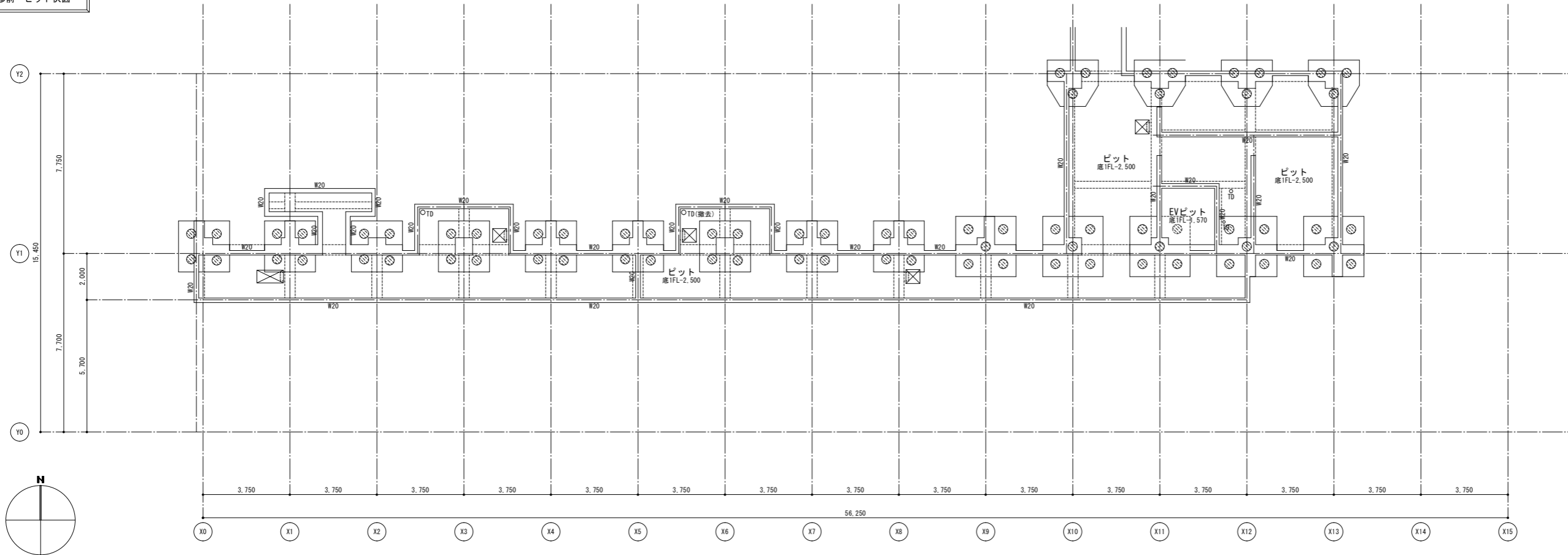
医学部E棟とりこわし工事
R8.10月～R9.1月（予定）

凡例

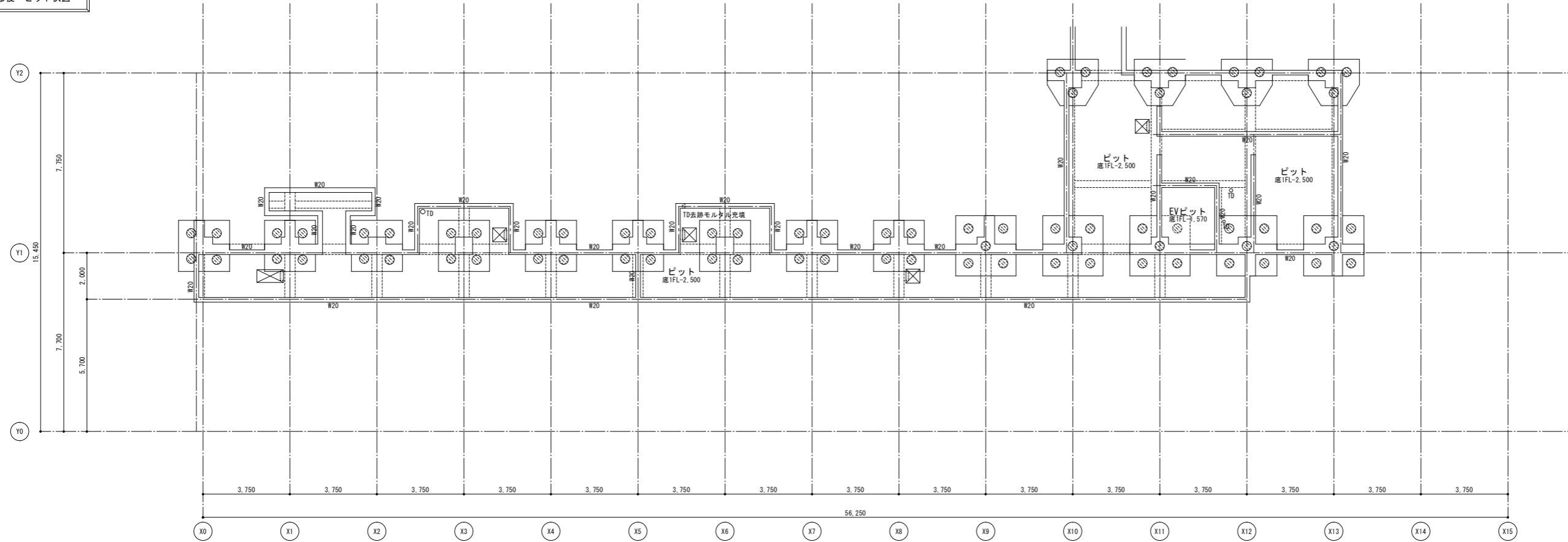
記号	内容
	本工事建物
	別途工事
	工事用地 592.2㎡ (工事用地① 352.2㎡ + 工事用地② 240㎡)
	工事用車両進入経路
	ネットフェンス (H=1.8m) (別途建築工事)
	枠組足場 (別途建築工事)
	建物出入口
	交通誘導員 (大型車両搬出入時)
	水道分岐位置
	電力分岐位置

工事名	京都大学（南部）総合研究棟（医学部C棟）等改修その他機械設備工事		図面番号
図面名称	現場説明付記事項	縮尺	図示
		設計日	令和8年7月
			1

改修前 ピット伏図

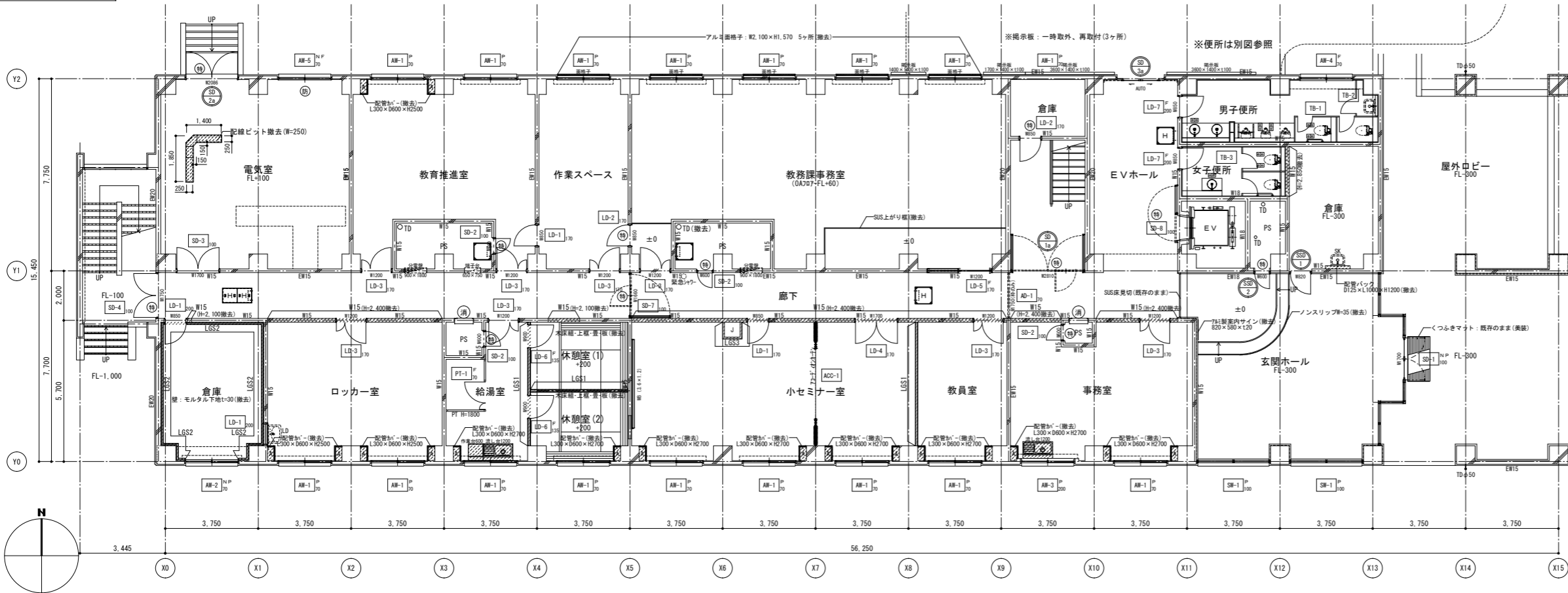


改修後 ピット伏図



工事名		京都大学（南部）総合研究棟（医学部C棟）等改修その他機械設備工事		図面番号
図面名称		縮尺	設計日	2
ピット伏図（改修前後）		A1: 1/100 A3: 1/200	令和8年7月	

改修前 1階平面図



撤去 凡例

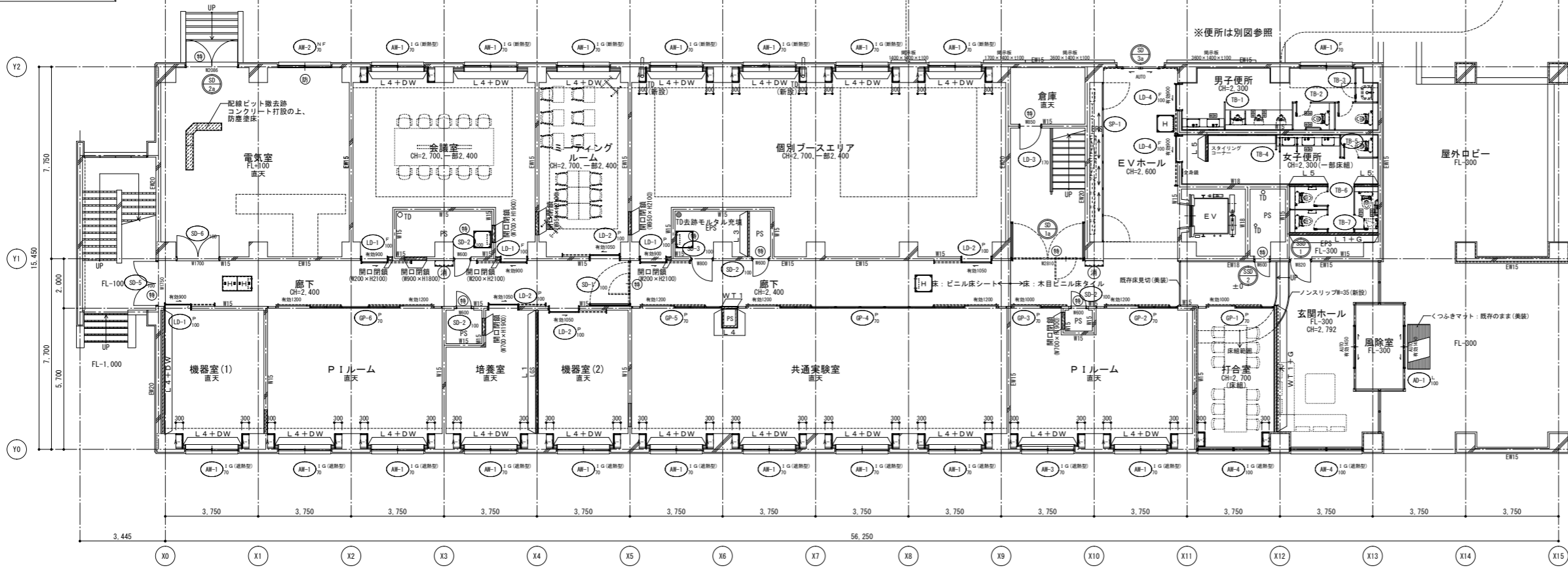
- : RC壁、柱 (WOOはRC壁厚を示す。)
 - : ALGはALCパネルt=100+GL (工法)を示す。
 - : 仕上撤去範囲を示す。
 - : 部分撤去範囲を示す。
 - : の範囲は工事範囲外を示す。
 - : 間仕切壁、部分撤去範囲を示す。(WOOは壁厚を示す。)
 - : (LGS1: GB-Rt=12.5+9.5片面、天井まで示す。)
 - : (LGS2: GB-Rt=12.5+9.5片面、天井まで示す。)
 - : (LGS3: GB-Rt=12片面、天井まで示す。)
 - : (ALG: ALCパネルt=100+GB-Rt=12(工法)、37'又は以下まで示す。)
 - : ※PS内前はALC高地とする。
 - : 撤去建具を示す。(○は特見込を示す。)
- 各室1ヶ所 : 撤去 サイン (L200×H 80×アクリルt=5突出)
 各便所1ヶ所 : 撤去 ビックサイン (L200×H200×アクリルt=5平付)
 ※配管・ダクト類及び配線等の撤去は設備工事とする。
 ※手洗い・洗面器等衛生機器撤去は機械設備工事とする。

- ※注記 明示のない限り下記による。(各階共通)
- ・アスベスト混入のある材料は関係法令に従い、適正に処理する。
(床: ビニル床タイル、天井: 石膏板)
 - ・家具類、間仕切などの撤去はモルタルにて補修する。
厚さが30以上になる場合は、ラス下地とする。
 - ・撤去の際、見掛け残存部となる部分はカッター切り後、撤去する。
 - ・既存部分への損傷は少なくすること。なお損傷が生じた場合は現状復旧のこと。
 - ・天井仕上撤去 (張り縁共) は、特記なき限り下地共とする。
 - ・塗装仕上の塗り替えは既存下地補修のこと。
 - ・工事中、本工事範囲外の部分に汚損を生じた場合は原形に復旧すること。
 - ・壁付、天井付品で不要なもの (サイン・カーテンレール及びカーテンボックス等) は、本工事で撤去すること。
 - ・ドラフトチャンパー・実験台・ダクト類、手洗等衛生機器などの撤去は本工事に含む。
 - ・撤去後は清掃のこと。

什器等 撤去リスト

階数	部屋名	品名	特記事項(その他)	数量	サイズ		
					W	D	H
1	給湯室	流し台	水切付	1	1200	550	800
1	給湯室	作業台	水切付	1	600	550	630
1	小机+椅子	机付+椅子	壁付	1	3600	100	1200
1	事務室	流し台		1	1200	550	800
1	教務課事務室	黒格子	外壁取付	5	2100	20	1570

改修後 1階平面図



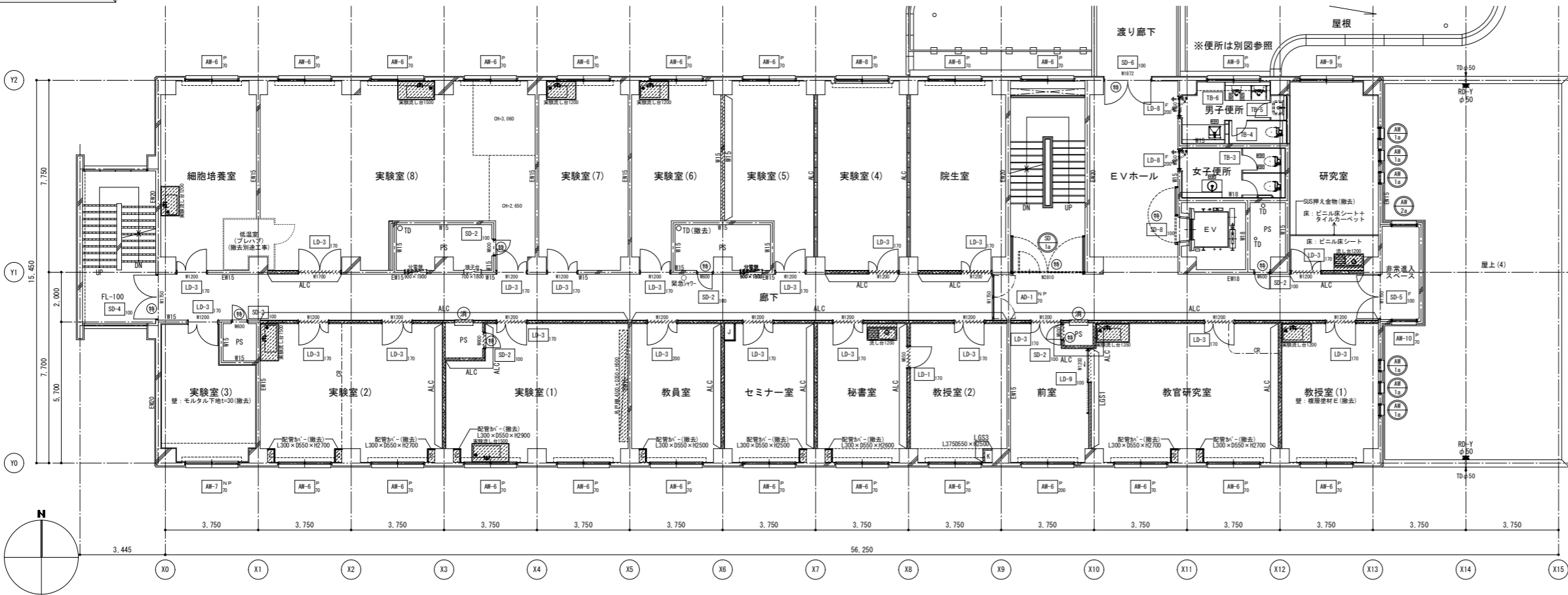
凡例 記号

- WB 白磁()はW×Hの大きさを示す。
- H 床下点検口(600×600、600×1,200)
※(仕上のみ撤去・新設)時は清掃
- CR カーテンレール(撤去・新設)
- OA フリーアクセスフロア Hは高さを示す。
- HB: O 配管バック: 片面・両面は側面の仕上を示す。
※新規LDにはL20×H1,100とする。
- LD 洗面化粧台(設備工事)
- 消 屋内消火栓(設備工事)
- 木 壁: 木調シート貼り(天井面まで)
- ALC 既存ALC(パネルt=100を示す。
GB-Rt12(工法)両面は下地調整の上、仕上とする。
L O + Gは、ガラスウールt=50(24K)充填とする。
- RD-T たて引き用ルーフレッド(既存のまま、美装)
- RD-Y よこ引き用ルーフレッド(既存のまま、美装)
- TD 壁紙: 配管用壁紙(壁は図示による)
特記なきは100とする。(建物内は防露材)
- 特 特定防火設備(常時閉鎖式)
- 特S 特定防火設備(常時開放・煙感知連動自動閉鎖31+γ'-なし)
- 防 防火設備(ガラスはFD付)

改修 凡例

- : RC壁、柱 (WOOはRC壁厚を示す。)
 - : 改修範囲を示す。
 - : 部分改修範囲を示す。
 - : の範囲は工事範囲外を示す。
 - : 間仕切壁、部分新設範囲を示す。(L Oは壁種別を示す。)
 - : 新設建具を示す。(※はガラス種別、○は特見込を示す。)
 - : 既存建具改修を示す。
 - : 点線は、別途工事を示す。
- ※手洗い・洗面器等衛生機器新設は機械設備工事とする。
(排水コア抜き共)

改修前 2階平面図



撤去 凡例

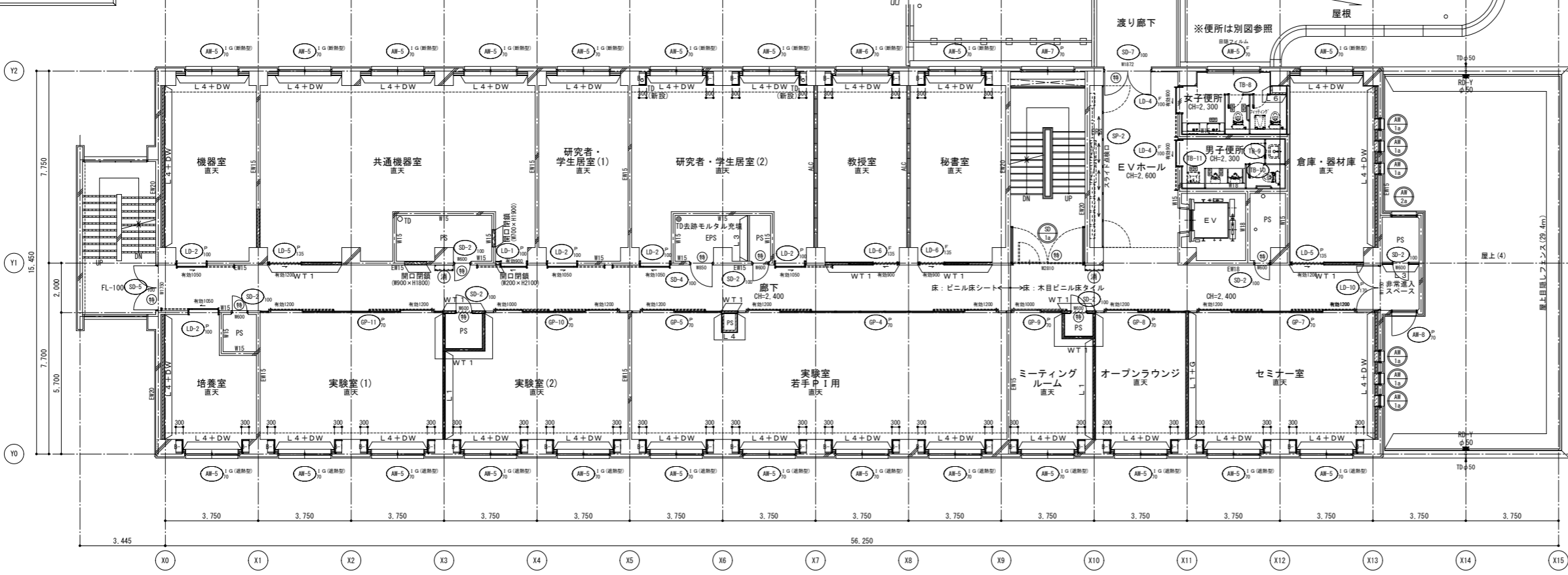
- RC壁、柱 (WOOはRC壁厚を示す。)
ALCはALCパネル100×G L (工法)を示す。
- 仕上撤去範囲を示す。
- 部分撤去範囲を示す。
- の範囲は工事範囲外を示す。
- 間仕切り壁、部分 撤去範囲を示す。
(WOOは壁種別を示す。)
(LS1: 08-Rt=12.5+9.5片面、337'下まで示す。)
(LS2: 08-Rt=12.5+9.5片面、天井まで示す。)
(LS3: 08-Rt=12片面、天井まで示す。)
(ALC: ALCパネル100×08-Rt12 (GL工法)、337'又は梁下まで示す。)
※PS内側はALC充填とする。
- 撤去機具を示す。
(○は特見込を示す。)

各室1ヶ所 : 撤去 サイン (L200×H 80×アクリルt=5突出)
各便所1ヶ所 : 撤去 ビックサイン (L200×H200×アクリルt=5平付)
※配管・ダクト類及び配線等の撤去は設備工事とする。
※手洗い・洗面器等衛生陶器撤去は機械設備工事とする。

什器等 撤去リスト

階数	部屋名	品名	特記事項 (その他)	数量	サイズ		
					W	D	H
2	細胞培養室	実験流し台		1	1200	750	800
2	実験室 (8)	実験流し台		1	1500	750	800
2	実験室 (7)	実験流し台		1	1200	750	800
2	実験室 (6)	実験流し台		1	1500	750	800
2	実験室 (2)	実験流し台		1	1500	750	800
2	実験室 (1)	実験流し台		1	1500	750	800
2	実験室 (1)	吊戸棚		1	4500	350	500
2	秘書室	流し台	水切付	1	1200	550	800
2	教官研究室	実験流し台		1	1350	750	800
2	教室 (2)	実験流し台		1	1200	750	800

改修後 2階平面図



凡例、記号	壁種 凡例	
WB	白紙 ()はW×Hの大きさを示す。 (撤去)	防火区画耐火壁 (1時間耐火) WT (L4+GB-Rt=12.5+GB-Rt=12.5 (両面、337'下まで)
H	床下全開口 (600×600、600×1,200) ※(仕上のみ撤去・新設)種は消滅	L (LS+GB-Rt=12.5+GB-Rt=12.5 (両面、337'下まで)
CR	カーテンレール (撤去・新設)	L (LS+GB-Rt=12.5+GB-Rt=12.5 (両面、天井まで)
OA	フリーアクセスフロアー Hは高さを示す。	L 3 LS+GB-Rt=9.5+GB-Rt=12.5 (両面、337'下まで)
H B : ○○	配管パック 片面、両面は側面の仕上を示す。 ※新規DLはL720×H1,100とする。	L 4 LS+GB-Rt=9.5+GB-Rt=12.5 (片面、天井まで)
LD	洗面化粧台 (設備工事)	L 5 LS+GB-Rt=12.5+化粧t=6 (両面、天井まで)
消	屋内消火栓 (設備工事)	L 6 LS+GB-Rt=12.5+化粧t=6 (片面、天井まで)
木	壁・木シート貼り (天井まで)	W15 コンクリート壁 (数値は厚み)を示す。
		ALC 既存ALCパネル100を示す。 08-Rt12 (GL工法)両面は下地調整の上、仕上とする。 L O + Gは、グラスウール=50 (24K)充填とする。
RD-T	たて引き用ルーフレッド (既存のまま、美装)	開口閉鎖 特記なき開口閉鎖はWT 1とL5スタッドはチドリ配置とし、 グラスウール=50 (24K)充填とする。
RD-Y	よこ引き用ルーフレッド (既存のまま、美装)	DW 壁 : 現場発泡断熱ウレタンフォーム吹付t=50 最上階スラブ下 : 既存フォームポリスチレンt=25打込 (アンカー撤去跡等はウレタンフォーム吹付にて補修)
TD	壁紙 : 配管用鋼管 (種は図示による) 特記なきは100φとする。(建物は防露材)	
特	特定防火設備 (常時閉鎖式)	E 電気錠
特 S	特定防火設備 (常時開放・煙感知器連動自動閉鎖t=37なし)	▼ 「非常用進入口に代わる窓」の標示
防	防火設備 (ガラリはFD付)	□ 点字板を示す。(撤去・新設)

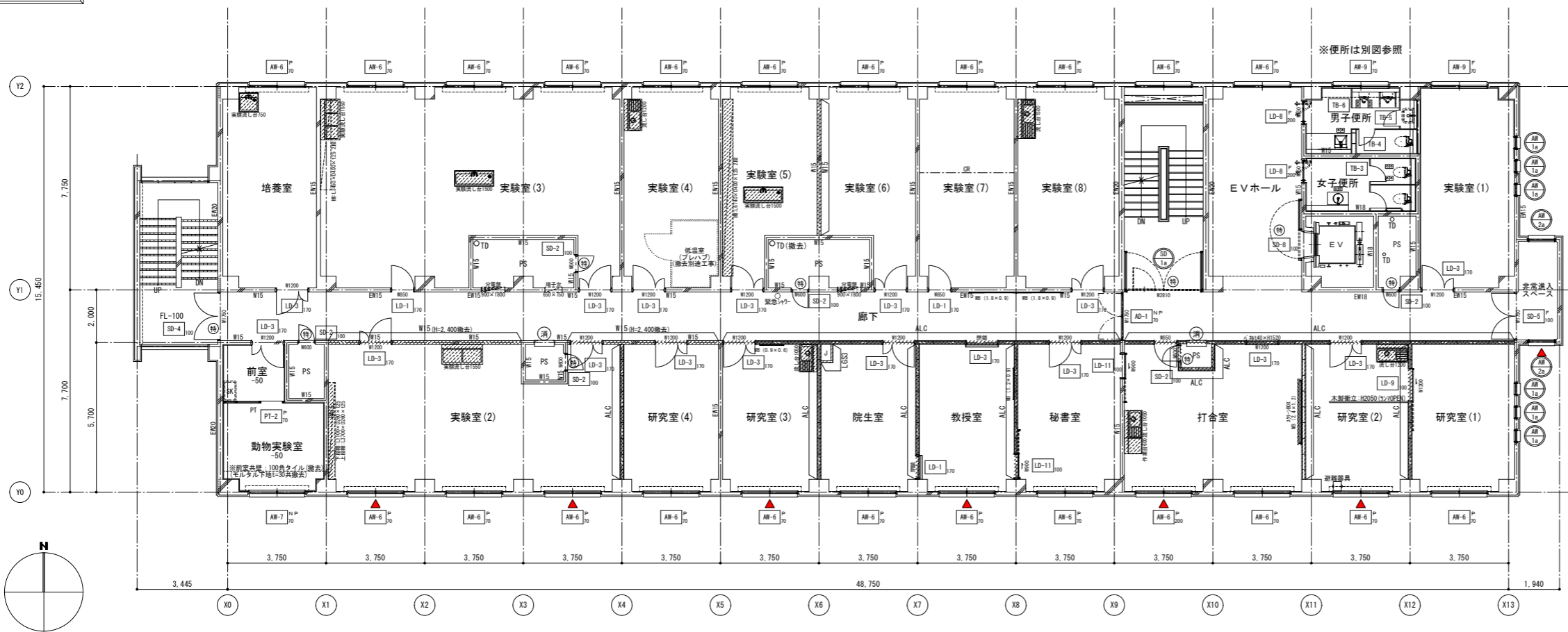
改修 凡例

- RC壁、柱 (WOOはRC壁厚を示す。)
- 改修範囲を示す。
- 部分改修範囲を示す。
- の範囲は工事範囲外を示す。
- 間仕切り壁、部分 新設範囲を示す。
(L Oは壁種別を示す。)
- 新設機具を示す。
(*はガラス種別、○は特見込を示す。)*特記なきは機具表による。
- 既存機具改修を示す。
- 点線は、別途工事を示す。

※手洗い・洗面器等衛生陶器新設は機械設備工事とする。
(排水コア抜き共)

工事名	京都大学 (南部) 総合研究棟 (医学部C棟) 等改修その他機械設備工事		図面番号
図面名称	2階平面図 (改修前後)	縮尺	設計日
		A1:1/100 A3:1/200	令和8年7月
			4

改修前 3階平面図



撤去 凡例

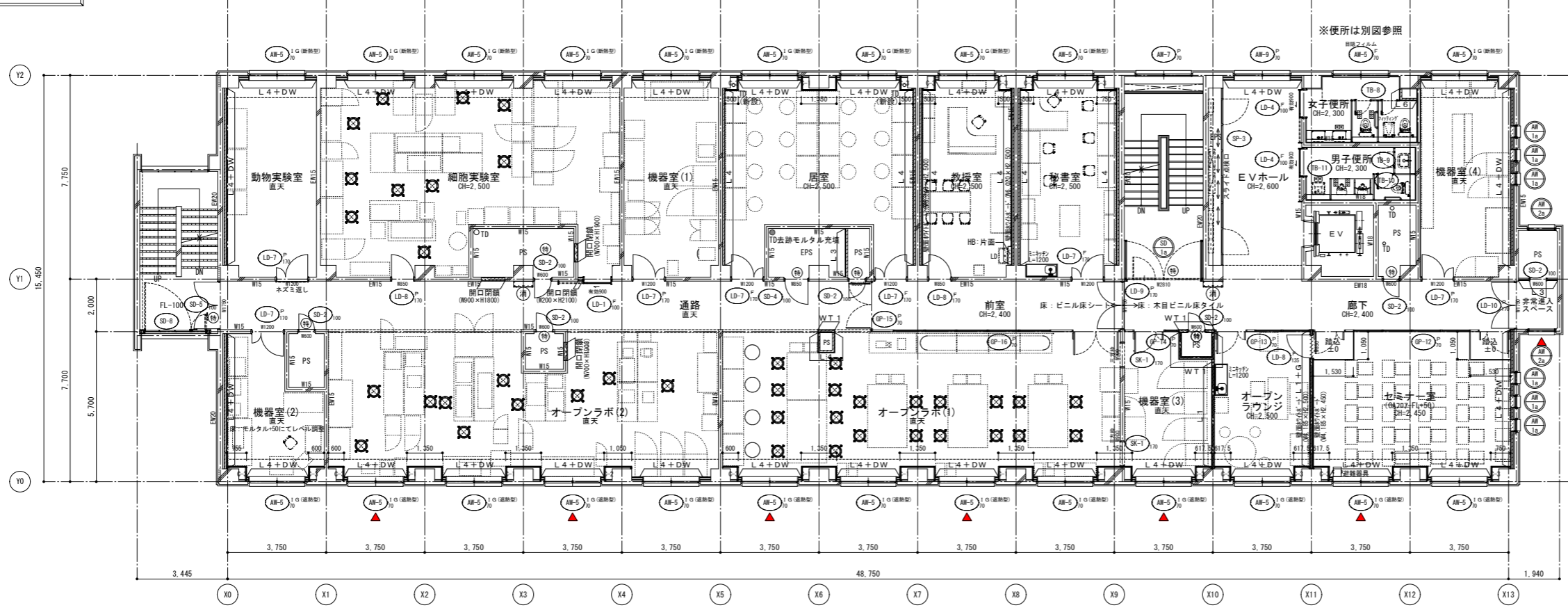
- RC壁、柱 (WOOはRC壁厚を示す。)
ALCはALCパネルt=100+G.L(工法)を示す。
- 仕上撤去範囲を示す。
- 部分撤去範囲を示す。
- の範囲は工事範囲外を示す。
- 閉仕切壁、部分 撤去範囲を示す。
(WOOは壁種別を示す。)
- (LS1: 08-Rt=12.5+9.5片面、337'下までを示す。)
- (LS2: 08-Rt=12.5+9.5片面、天井までを示す。)
- (LS3: 08-Rt=12.5片面、天井までを示す。)
- (ALC: ALCパネルt=100+08-Rt=12(工法)、337'又は天井までを示す。)
- ※PS内側はALC床とする。
- 撤去壁員を示す。
(○は特見込を示す。)

各室1ヶ所: 撤去 サイン (L200×H 80×亚克力t=5突出)
各便所1ヶ所: 撤去 ピクトサイン (L200×H200×亚克力t=5平付)
※配管・ダクト類及び配線等の撤去は設備工事とする。
※手洗い・洗面器等衛生陶器撤去は機械設備工事とする。

什器等 撤去リスト

階数	部屋名	品名	特記事項 (その他)	数量	サイズ		
					W	D	H
3	培養室	実験流し台		1	750	750	800
3	実験室(3)	実験流し台		1	1500	750	800
3	実験室(3)	実験流し台		1	1500	600	900
3	実験室(3)	棚	t25×2段	1	3450	400	400
3	実験室(4)	流し台	水切付	1	1200	550	800
3	実験室(5)	実験流し台		1	1500	600	900
3	実験室(5)	棚	t25×2段	1	6740	400	400
3	実験室(8)	流し台	水切付	1	1500	550	800
3	実験室(2)	実験流し台		1	1550	750	800
3	実験室(2)	棚	上段	1	3700	260	t25
3	実験室(2)	棚	下段	1	1100	260	t25
3	研究室(3)	流し台	水切付	1	1050	550	800
3	研究室(3)	約付'-d'	壁付	1	900	40	600
3	打合室	流し台	水切付	1	1050	550	850
3	打合室	作業台	水切付	1	600	550	670
3	打合室	約付'-d'	壁付	1	2400	100	1200
3	打合室	3ヶ所'バック	3ヶ所	1	2600	150	150
3	研究室(2)	流し台	水切付	1	1200	550	800
3	研究室(2)	木製衝立	ラメラ'ン	3000	55	2050	

改修後 3階平面図



凡例 記号

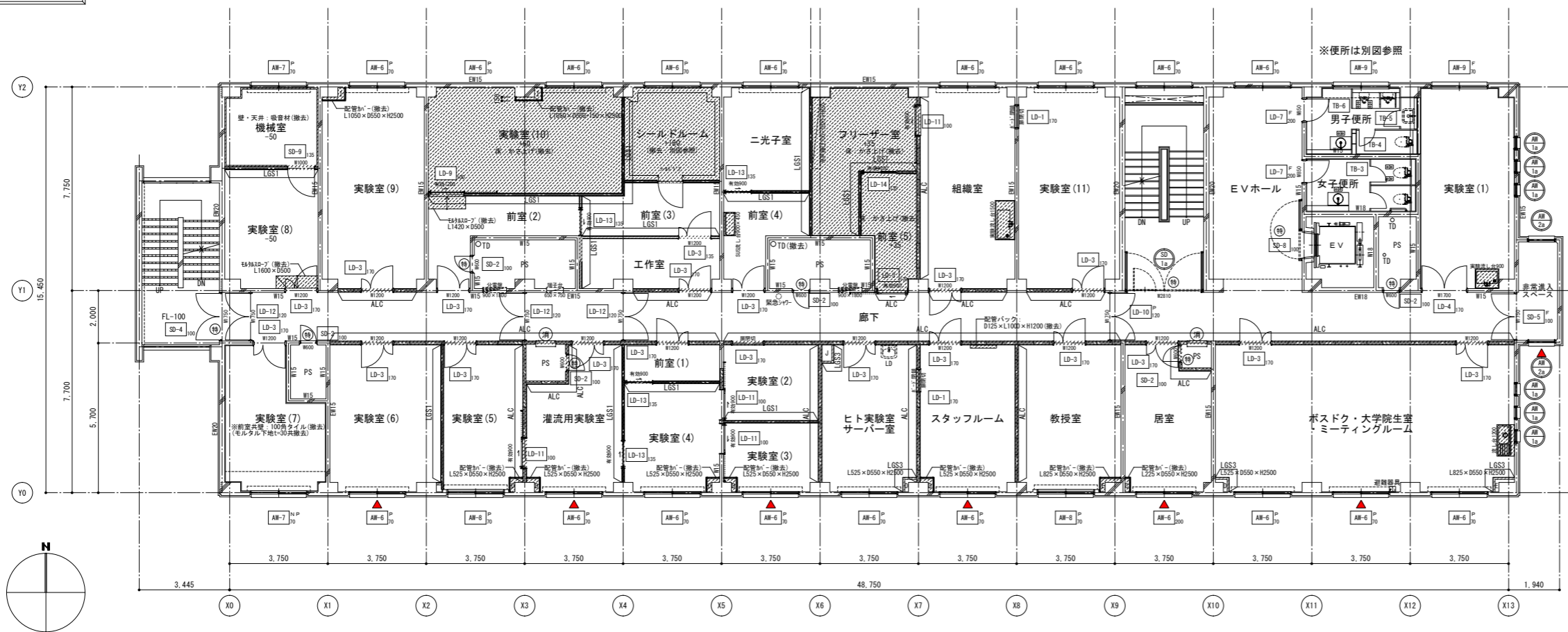
凡例 記号	壁種 凡例	
WB	白板 ()はW×Hの大きさを示す。 (撤去)	防火区画耐火壁 (1時間耐火) WT LLS+GB-Rt=12.5+GB-Rt=12.5 (両面、337'下まで)
H	床下自給口 (600×600、600×1,200) (※上のみ撤去・新設時は清掃)	L LLS+GB-Rt=12.5+GB-Rt=12.5 (両面、337'下まで)
CR	カーテンレール (撤去・新設)	L LLS+GB-Rt=12.5+GB-Rt=12.5 (両面、天井面まで)
OA	フリーアクセスフロアー Hは高さを示す。	L3 LLS+GB-Rt=9.5+GB-Rt=12.5 (両面、337'下まで)
HB: ○	配管バック 片面・両面は側面の仕上を示す。 ※新規DLはL120×H1,100とする。	L4 LLS+GB-Rt=9.5+GB-Rt=12.5 (片面、天井面まで)
LD	洗面化粧台 (設備工事)	L5 LLS+GB-Rt=12.5+化粧材t=6 (両面、天井面まで)
消	屋内消火栓 (設備工事)	L6 LLS+GB-Rt=12.5+化粧材t=6 (片面、天井面まで)
木	壁・木シート貼り (天井面まで)	W15 コンクリート壁 (数値は厚みを示す。)
		ALC 既存ALCパネルt=100を示す。 08-Rt12(工法)両面は下地調整の上、仕上とする。 L O+Gは、ガラスウール=50 (24K)充填とする。
RD-T	たて引き用ルーフレン (既存のまま、塗装)	開口部 特記なき開口部はWT1とLスタッドはチドリ配置とし、 ガラスウール=50 (24K)充填とする。
RD-Y	よこ引き用ルーフレン (既存のまま、塗装)	DW 壁: 現場発泡断熱ウレタンフォーム吹付t=50 最上層ラフ下: 既存フォームポリスチレンt=25打込 (アンカー撤去跡等はウレタンフォーム吹付にて補修)
TD	壁紙: 配管用鋼管 (径は図示による) 特記なきは100φとする。(建物内は防露材)	
特	特定防火設備 (常時閉鎖式)	E 電気錠
特 S	特定防火設備 (常時開放・煙感知器連動自動閉鎖型ありなし)	▼ 「非常導入入口に代わる窓」の標示
防	防火設備 (ガラリはFD付)	回 点字板を示す。(撤去・新設)

改修 凡例

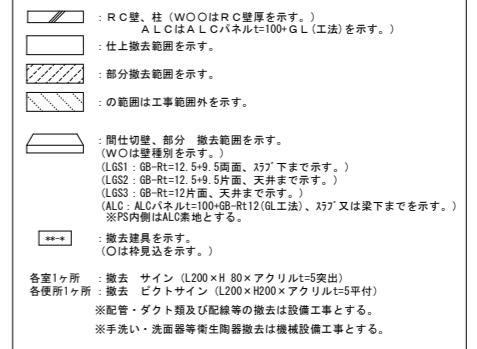
- RC壁、柱 (WOOはRC壁厚を示す。)
- 改修範囲を示す。
- 部分改修範囲を示す。
- の範囲は工事範囲外を示す。
- 閉仕切壁、部分 新設範囲を示す。
(L.Oは壁種別を示す。)
- 新設壁員を示す。
(*はガラス種別、○は特見込を示す。)*特記なきは壁員表による。
- 既存壁員改修を示す。
- 点線は、別途工事を示す。

※手洗い・洗面器等衛生陶器新設は機械設備工事とする。
(排水コア抜き共)

改修前 4階平面図



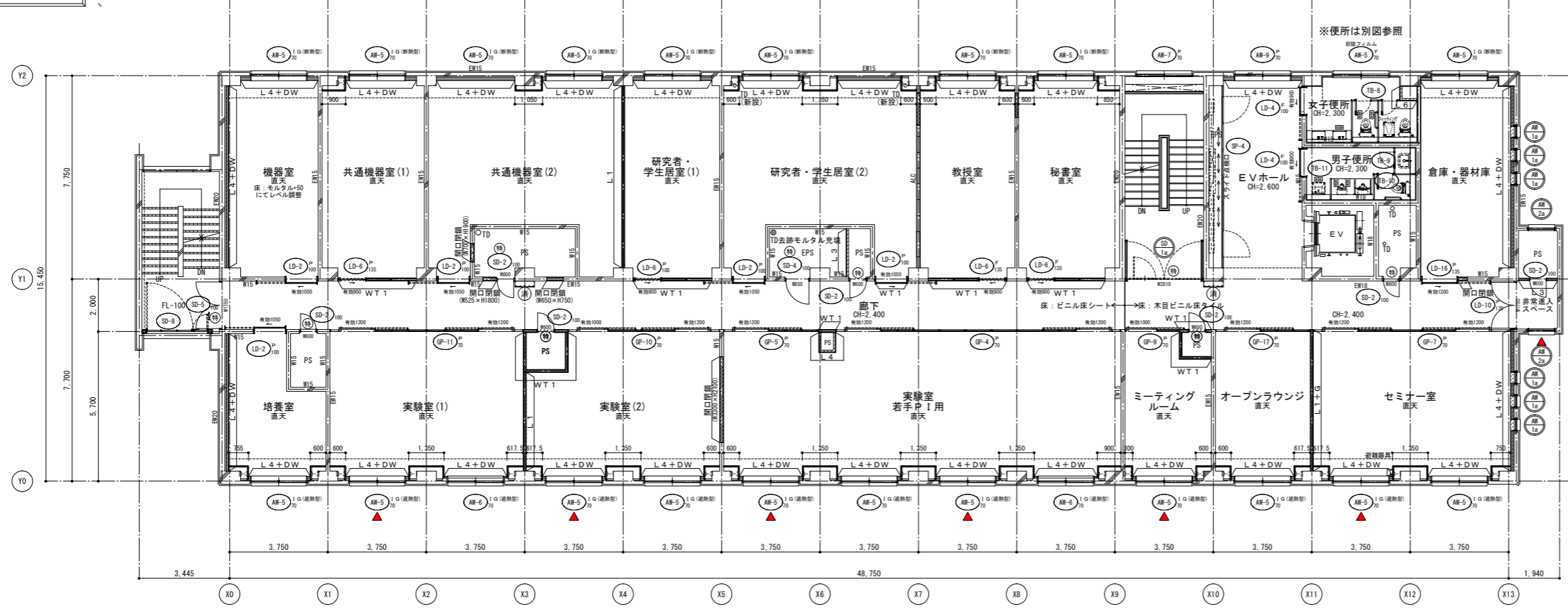
撤去 凡例



仕器等 撤去リスト

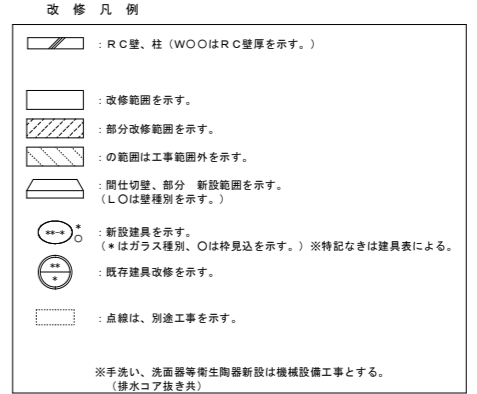
階数	部署名	品名	特記事項 (その他)	数量	サイズ
4	前室(4)	SUS流し台		1	900 450 830
4	ラボ-室	吊戸棚		1	2700 320 650
4	図書室	実験流し台		1	1500 750 800
4	実験室(1)	実験流し台		1	900 750 800
4	ポストドク 大学院生室	流し台	水切付	1	1200 550 800

改修後 4階平面図



凡例、記号

凡例、記号	仕様 凡例
WB	白板 ()はW×Hの大きさを示す。 (撤去)
H	防火区画耐火壁 (1時間耐火) (撤去)
CR	カーテンレール (撤去・新設)
OA	フリークセスフロアー Hは高さを示す。
HB: O	配管パック、片面、両面は側面の仕上を示す。 ※新規LDはL1720×H1100とする。
LD	洗面化粧台 (設備工事)
消	屋内消火栓 (設備工事)
木	壁・木シート貼り (天井面まで)
	既存ALCパネル=100を示す。 GB-Rt12 (GL工法)両面は下地調整の上、仕上とする。 L O + Gは、グラスウール=50 (24K)充填とする。
RD-T	たて引き用ルーフレン (既存のまま、美装)
RD-Y	よこ引き用ルーフレン (既存のまま、美装)
TD	壁紙: 配管用鋼管 (径は図示による) 特記なきは100とする。(建物内は防露材)
特	特定防火設備 (常時閉鎖式)
特 S	特定防火設備 (常時開放・煙感知器連動自動閉鎖式なし)
防	防火設備 (ガラリはFD付)
	電気錠
	「非常用進入口に代わる窓」の標示
	点字版を示す。(撤去・新設)



改修前 5階平面図



撤去 凡例

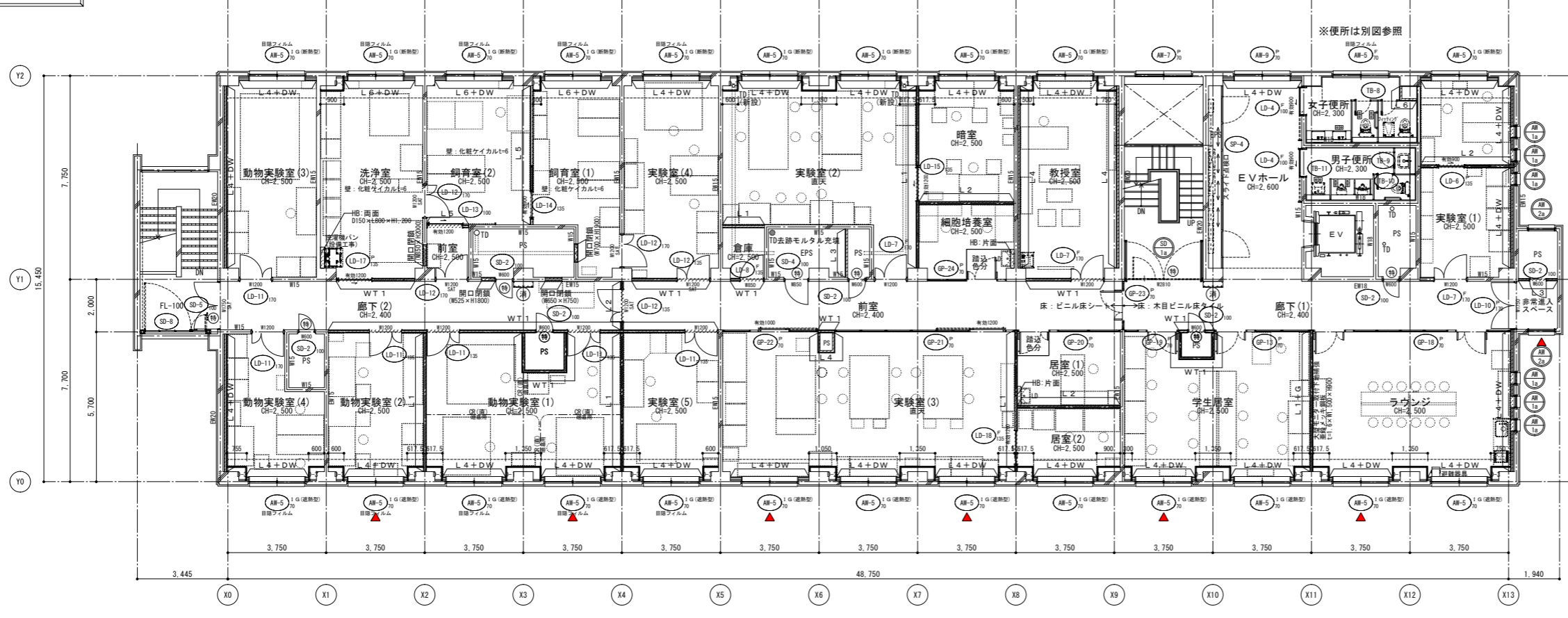
- RC壁、柱 (WOOはRC壁厚を示す。)
ALCはALCパネル100×G L (工法)を示す。
- 仕上撤去範囲を示す。
- 部分撤去範囲を示す。
- の範囲は工事範囲外を示す。
- 間仕切り壁、部分 撤去範囲を示す。
(WOOは壁種別を示す。)
- (LGS1: GB-Rt=12.5+9.5片面、33'下まで示す。)
- (LGS2: GB-Rt=12.5+9.5片面、天井まで示す。)
- (LGS3: GB-Rt=12片面、天井まで示す。)
- (ALC: ALCパネル100×G L Rt=12 (G L工法)、33'又は床下まで示す。)
- ※PS内側はALC素地とする。
- 撤去建具を示す。
(○は特見品を示す。)

各室1ヶ所: 撤去 サイン (L200×H 80×亚克力t=5突出)
各便所1ヶ所: 撤去 ビデオサイン (L200×H200×亚克力t=5平付)
※配管・ダクト類及び配線等の撤去は設備工事とする。
※手洗い・洗面器等衛生陶器撤去は機械設備工事とする。

什器等 撤去リスト

階数	部屋名	品名	特記事項 (その他)	数量	サイズ		
					W	D	H
5	教員研究室 (2)	実験流し台		1	900	750	800
5	洗浄室	SUS流し台		1	1500	750	600
5	洗浄室	SUS流し台		1	1800	750	800
5	洗浄室	吊戸棚		1	1300	300	600
5	細胞培養室	実験流し台		1	650	750	800
5	細胞培養室	吊戸棚		1	1200	300	600
5	第1実験室	実験流し台		1	1850	750	800
5	第1実験室	実験流し台		1	1500	750	800
5	第1実験室	吊戸棚		2	1200	300	600
5	教員研究室 (1)	実験流し台		1	1550	750	800
5	教員研究室 (1)	吊戸棚		2	1200	300	600
5	実験室	実験流し台		1	1200	600	800
5	第3実験室	実験流し台		1	1550	750	800
5	第2実験室	実験流し台		1	1850	750	800
5	第2実験室	実験流し台		1	1500	750	800
5	教授室	約18'×1'	壁付	1	1800	40	900
5	セミナー室	流し台	水切付	1	1200	550	800
5	セミナー室	33'×18'×18'	33'×18'	1	2400	150	150

改修後 5階平面図



凡例、記号

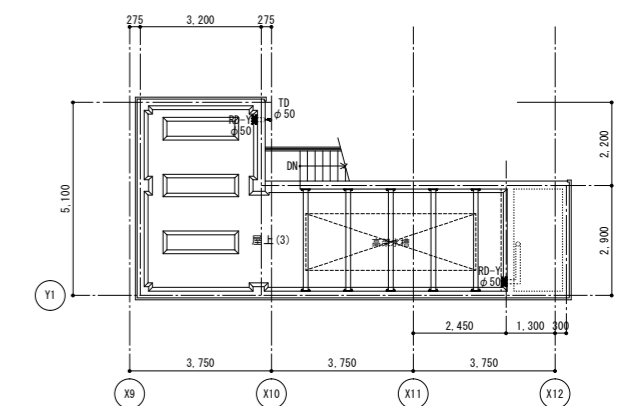
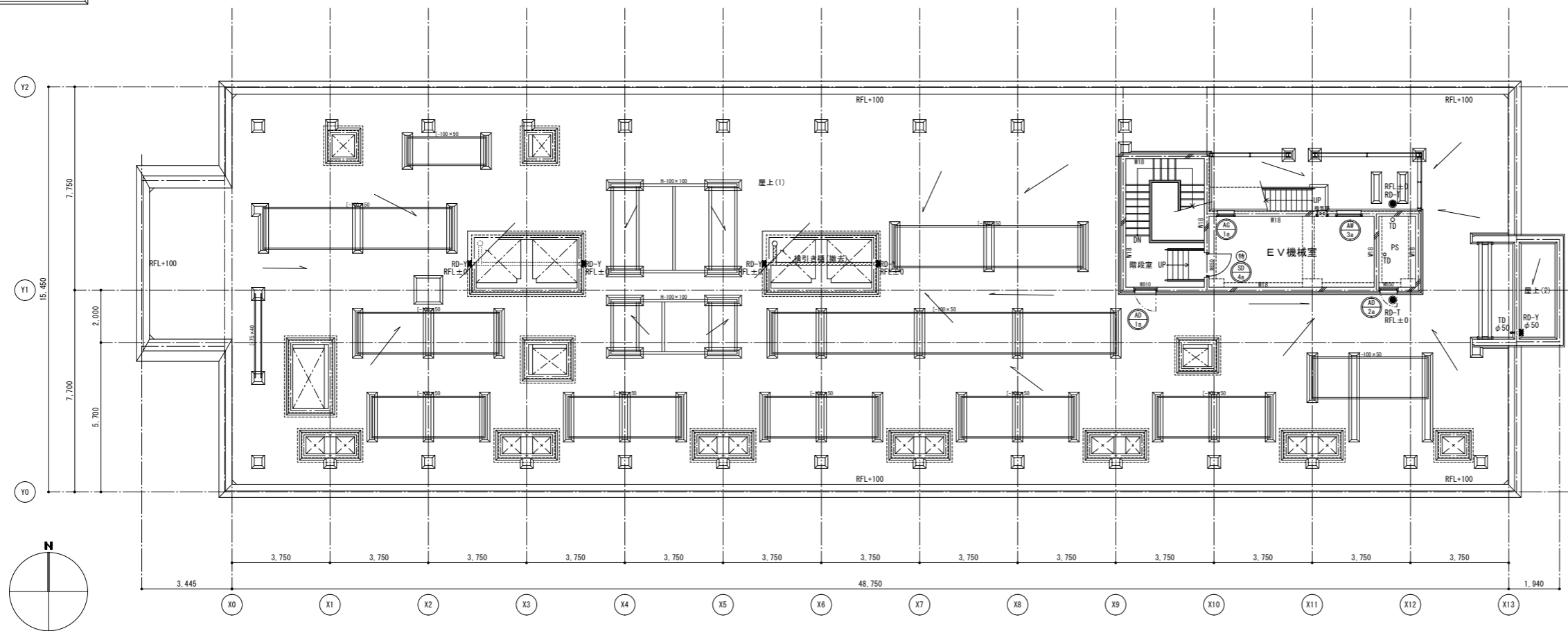
凡例、記号	仕様 凡例
WB	白板 ()はW×Hの大きさを示す。 (撤去)
H	床下給出口 (600×600、600×1,200) ※上のみ撤去・新設 枠は清掃
CR	カーテンレール (撤去・新設)
OA	フリーアクセスフロアー Hは高さを示す。
HB: ○	配管ボックス、片面・両面は側面の仕上を示す。 ※新規LDにはL720×H1,100とする。
LD	洗面化粧台 (設備工事)
消	屋内消火栓 (設備工事)
木	壁・木シート貼り (天井面まで)
ALC	既存ALCパネル100を示す。 GB-Rt12 (G L工法) 両面は下地調整の上、仕上とする。 L O + Gは、グラスウールt=50 (24K) 充填とする。
RD-T	たてきり用ルーフレン (既存のまま、美装)
RD-Y	よこきり用ルーフレン (既存のまま、美装)
TD	壁紙: 配管用鋼管 (径は図示による) 特記なきは100とする。(建物内は防露材)
特	特定防火設備 (常時閉鎖式)
特 S	特定防火設備 (常時開放・煙感知器連動自動閉鎖式なし)
防	防火設備 (ガラリはFD付)
WT 1	防火区画耐火壁 (1時間耐火) LGS+GB-Rt=12.5+GB-Rt=12.5 (両面、33'下まで)
L 1	LGS+GB-Rt=12.5+GB-Rt=12.5 (両面、33'下まで)
L 2	LGS+GB-Rt=12.5+GB-Rt=12.5 (両面、天井面まで)
L 3	LGS+GB-Rt=9.5+GB-Rt=12.5 (片面、33'下まで)
L 4	LGS+GB-Rt=9.5+GB-Rt=12.5 (片面、天井面まで)
L 5	LGS+GB-Rt=12.5+化粧材t=6 (両面、天井面まで)
L 6	LGS+GB-Rt=12.5+化粧材t=6 (片面、天井面まで)
W15	コンクリート壁 (数値は厚み)を示す。
開口部	特記なき開口部はWT 1とLスタッドはチドリ配置とし、 グラスウールt=50 (24K) 充填とする。
DW	壁: 現場発泡断熱ウレタンフォーム吹付t=50 最上階ラフ下: 既存フォームポリスチレンt=25打込 (アンカー撤去跡等はウレタンフォーム吹付にて補修)
E	電気錠
▼	「非常用進入口に代わる窓」の標示
回	点字板を示す。(撤去・新設)

改修 凡例

- RC壁、柱 (WOOはRC壁厚を示す。)
- 改修範囲を示す。
- 部分改修範囲を示す。
- の範囲は工事範囲外を示す。
- 間仕切り壁、部分 新設範囲を示す。
(L Oは壁種別を示す。)
- 新設建具を示す。
(*はガラス種別、○は特見品を示す。)*特記なきは建具表による。
- 既存建具改修を示す。
- 点線は、別途工事を示す。

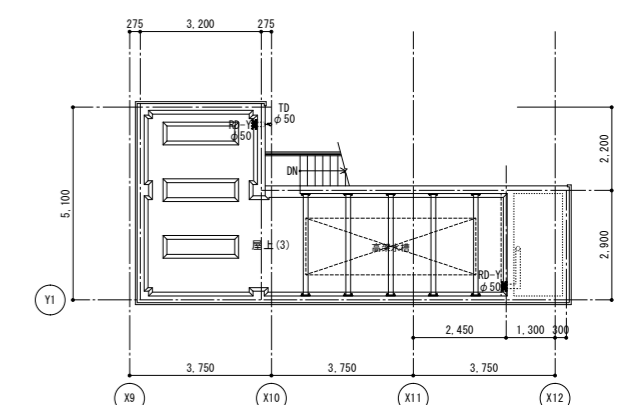
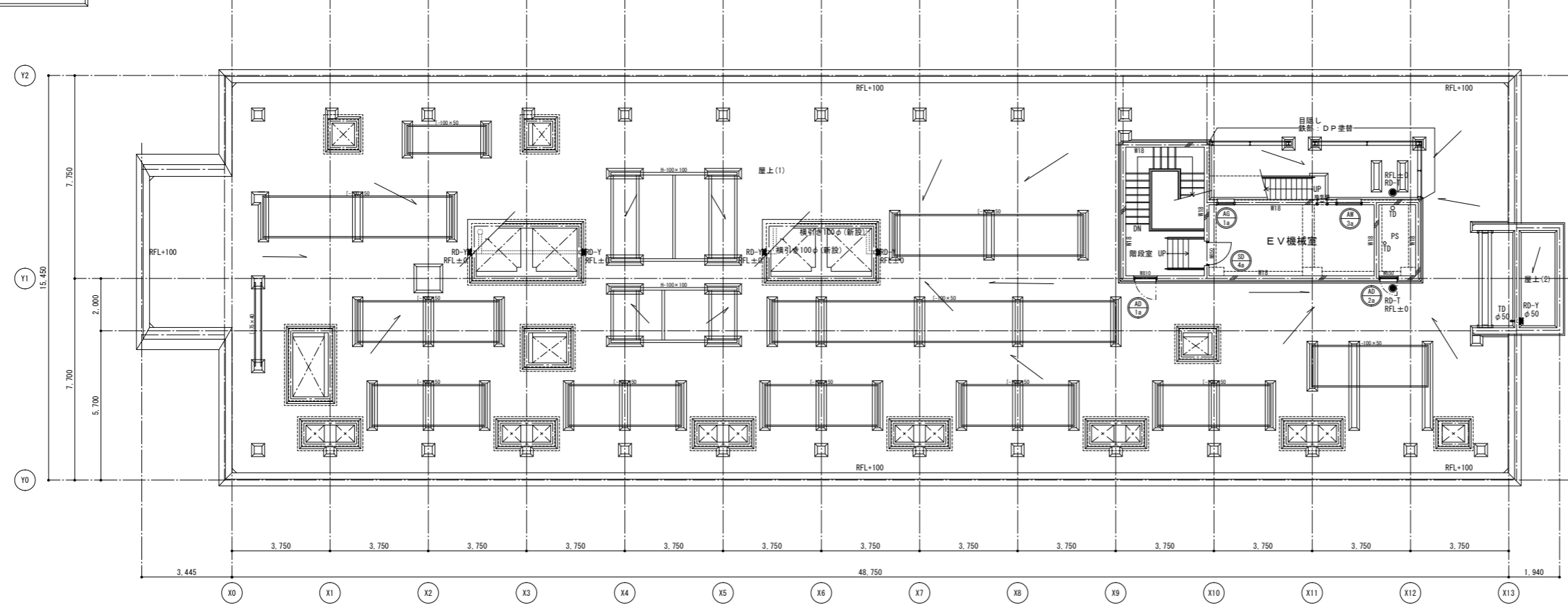
※手洗い・洗面器等衛生陶器新設は機械設備工事とする。
(排水コア抜き共)

改修前 屋上・PH階平面図



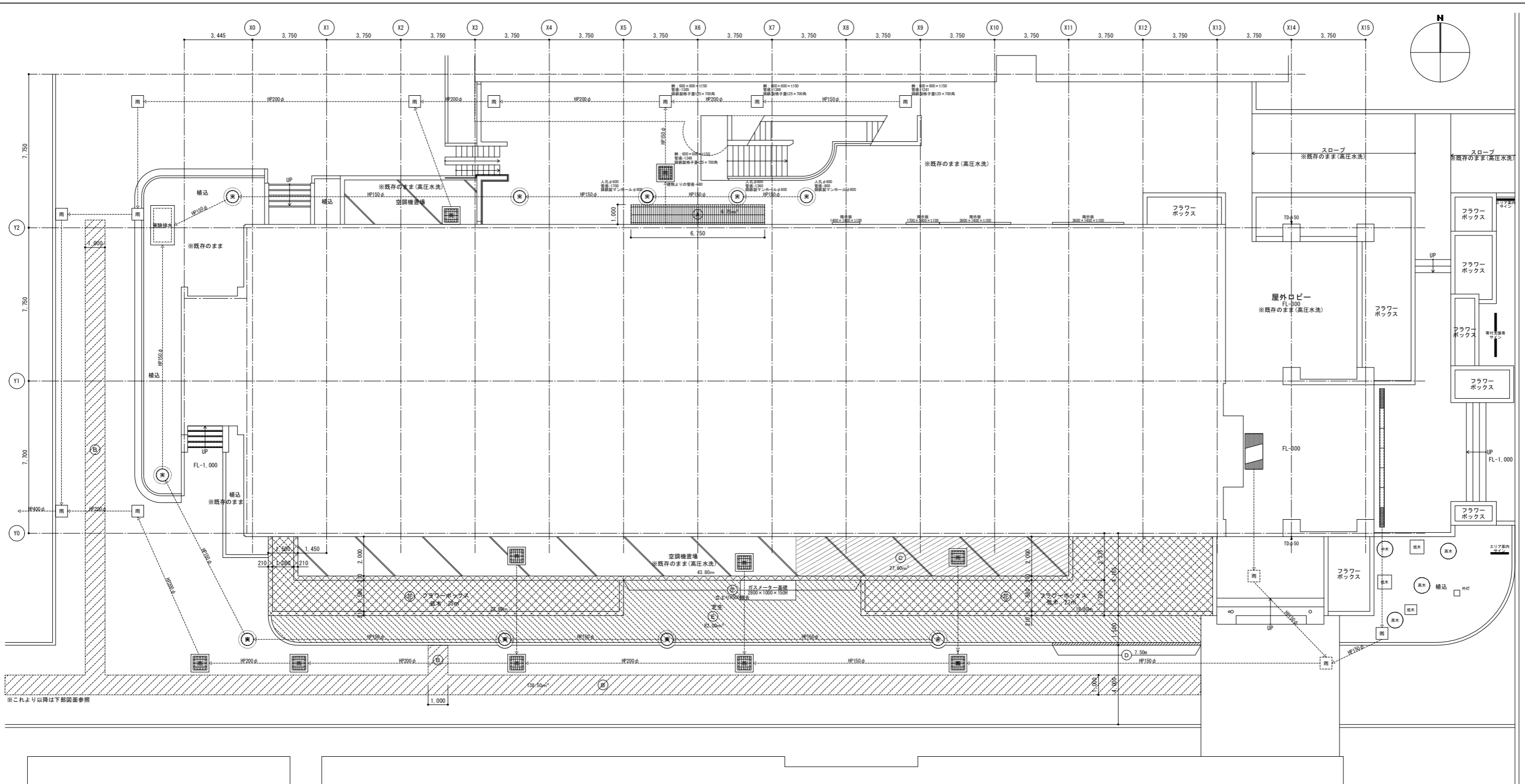
- 撤去凡例
- : RC壁、柱 (WOOはRC壁厚を示す。)
ALCはALCパネルt=100+GL(工法)を示す。
 - : 仕上撤去範囲を示す。
 - : 部分撤去範囲を示す。
 - : の範囲は工事範囲外を示す。
 - : 間仕切壁、部分 撤去範囲を示す。
(WCOは壁種別を示す。)
(LGS1: GB-Rt=12.5+9.5片面、137'下まで示す。)
(LGS2: GB-Rt=12.5+9.5片面、天井まで示す。)
(LGS3: GB-Rt=12片面、天井まで示す。)
 - : (ALC: ALCパネルt=100+GB-Rt12(G.工法)、137'又は梁下まで示す。)
※PS内側はALC敷地とする。
 - : 撤去建具を示す。
(Oは特見込を示す。)
- 各室1ヶ所 : 撤去 サイン (L200×H 80×アクリルt=5突出)
各便所1ヶ所 : 撤去 ビクトサイン (L200×H200×アクリルt=5平付)
※配管・ダクト類及び配線等の撤去は設備工事とする。
※手洗い・洗面器等衛生陶器撤去は機械設備工事とする。

改修後 屋上・PH階平面図

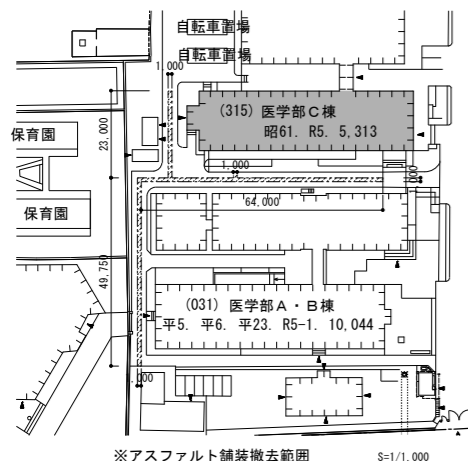


- 改修凡例
- : RC壁、柱 (WOOはRC壁厚を示す。)
 - : 改修範囲を示す。
 - : 部分改修範囲を示す。
 - : の範囲は工事範囲外を示す。
 - : 間仕切壁、部分 新設範囲を示す。
(LCOは壁種別を示す。)
 - : 新設建具を示す。
(*はガラス種別、Oは特見込を示す。)*特記なきは建具表による。
 - : 既存建具改修を示す。
 - : 点検は、別途工事を示す。
- ※手洗い、洗面器等衛生陶器新設は機械設備工事とする。
(排水コア抜き共)

工事名	京都大学(南部)総合研究棟(医学部C棟)等改修その他機械設備工事		図面番号
図面名称	縮尺	設計日	8
屋上階平面図(改修前後)	A1:1/100 A3:1/200	令和8年7月	



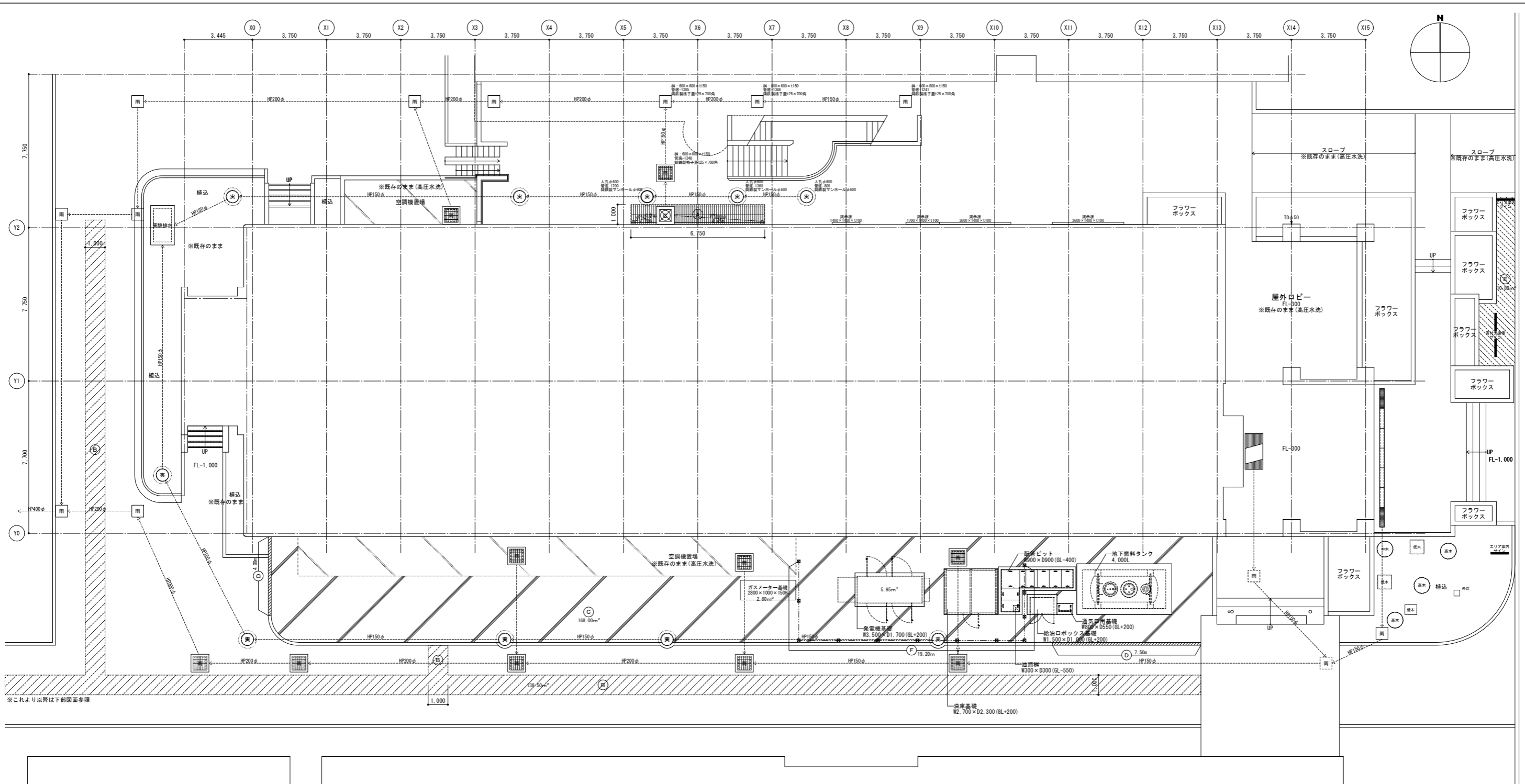
※これより以降は下部図面参照



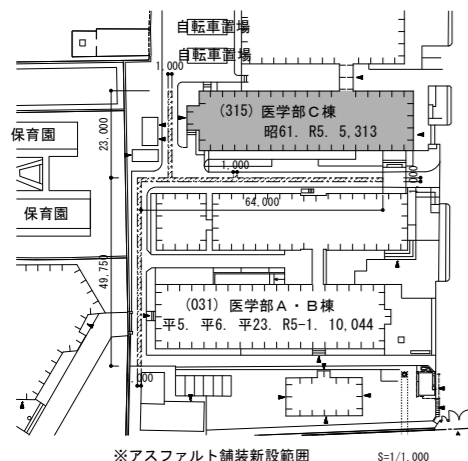
撤去凡例 ※屋外ロビー等は高圧水洗とする。

記号	名称	備考	参考数量
	せっきき質レンガタイル張り撤去 (長手張り)	t=50+土間スラブt=150	6.75㎡
	アスファルト舗装撤去	t=50	138.50㎡
	土間コンクリート撤去	t=150	27.60㎡
	縁石撤去	地先境界ブロック:150×150×600	7.50m
	芝生撤去		82.00㎡
	フラワーボックス撤去	立上り: H=500×D210 低木ツツジ類: H=1.0(5株/㎡) (枝挿・枝植)	87.02m 62.00㎡

工事名		京都大学(南部)総合研究棟(医学部C棟)等改修その他機械設備工事		図面番号
図面名称		縮尺	設計日	9
外構平面図(改修前)		A1:1/100 A3:1/200	令和8年7月	



※これより以降は下部図面参照



※アスファルト舗装新設範囲 S=1/1,000

凡例 ※屋外ロビー等は高圧水洗とする。

記号	名称	備考	参考数量
(A)	せっき質レンガタイル張り新設 (長手張り)	t=50+土間スラブt=150	6.26㎡
(B)	アスファルト舗装新設	t=50	138.50㎡
(C)	土間コンクリート新設	t=150	168.00㎡
(D)	縁石新設	地先境界ブロック:150×150×600	11.50m
(E)	芝生新設	ベタ張:コウライシバ	10.80㎡
(F)	メッシュフェンス新設	H=1800(ベースプレート共)	19.20m
(G)	雨水樹新設	600×600(排敷製格子蓋共)	1ヶ所

工事名		京都大学(南部)総合研究棟(医学部C棟)等改修その他機械設備工事		図面番号
図面名称		縮尺	設計日	10
外構平面図(改修後)		A1:1/100 A3:1/200	令和8年7月	



改修前 南面 立面図 S=1/100

タイル面 集計表 (参考数量)

名称	仕様・形状	数量	南面	北面	東面	西面	合計
ひび割れ (幅0.2以上~1.0以下)	自動式低圧エポキシ樹脂 注入工法	m数	1.5 m	1.5 m	1.5 m	1.5 m	6.0 m
欠損 (㎡)	タイル部分張替え工法 ポリマーセメントモルタル	㎡数	3.0 ㎡	2.0 ㎡	1.0 ㎡	1.0 ㎡	7.0 ㎡
浮き部	タイル部分張替え工法 ポリマーセメントモルタル	㎡数	2.0 ㎡	2.0 ㎡	2.0 ㎡	2.0 ㎡	8.0 ㎡

コンクリート面：屋外階段内側及びPH階北面、東面一部 集計表 (参考数量)

名称	仕様・形状	数量	南面	北面	西面	東面	合計
欠損 (㎡)	充填工法	㎡数	0.2 ㎡	0.2 ㎡	0.2 ㎡	0.5 ㎡	1.1 ㎡
ひび割れ	Uカットシーリング材 充填工法	m数	3.0 m	3.0 m	5.0 m	5.0 m	16.0 m

※「外部足場設置後、外壁面の事前調査（目視や打診による確認作業、マーキング、計測、図面記入）を行うこと」

：の範囲は工事範囲外を示す。

記号	改修前 仕上凡例	改修後 仕上凡例	記号	改修前 仕上凡例	改修後 仕上凡例
①	せつ器質レンガタイル張り	高圧水洗、コンクリート含浸防水材塗布	⑥	屋上目隠し：L-30×30×3 FE	鉄部はすべて、DP塗替
②	コンクリート打放しの上、アクリルクリヤー吹付	高圧水洗、下地調整の上、フッ素樹脂吹付	⑦	屋外階段目隠し：FB-32×4.5 デュラクロン焼付	鉄部はすべて、DP塗替
③	コンクリート打放しの上、複層塗材E	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材E	⑧	フラワーボックス：せつ器質レンガタイル張り	高圧水洗
④	ボンデ鋼板t=2.3加工デュラクロン焼付	既存のまま、塗装	⑨	伸縮目地：ポリサルファイドシーリング20×10	シーリング撤去・新設
⑤	壁柱：SGPφ50 SOP (掘み金物：φ1.200内外)	DP塗替	▼	「非常用出入口に代わる窓」の標示	標示シール撤去・新設

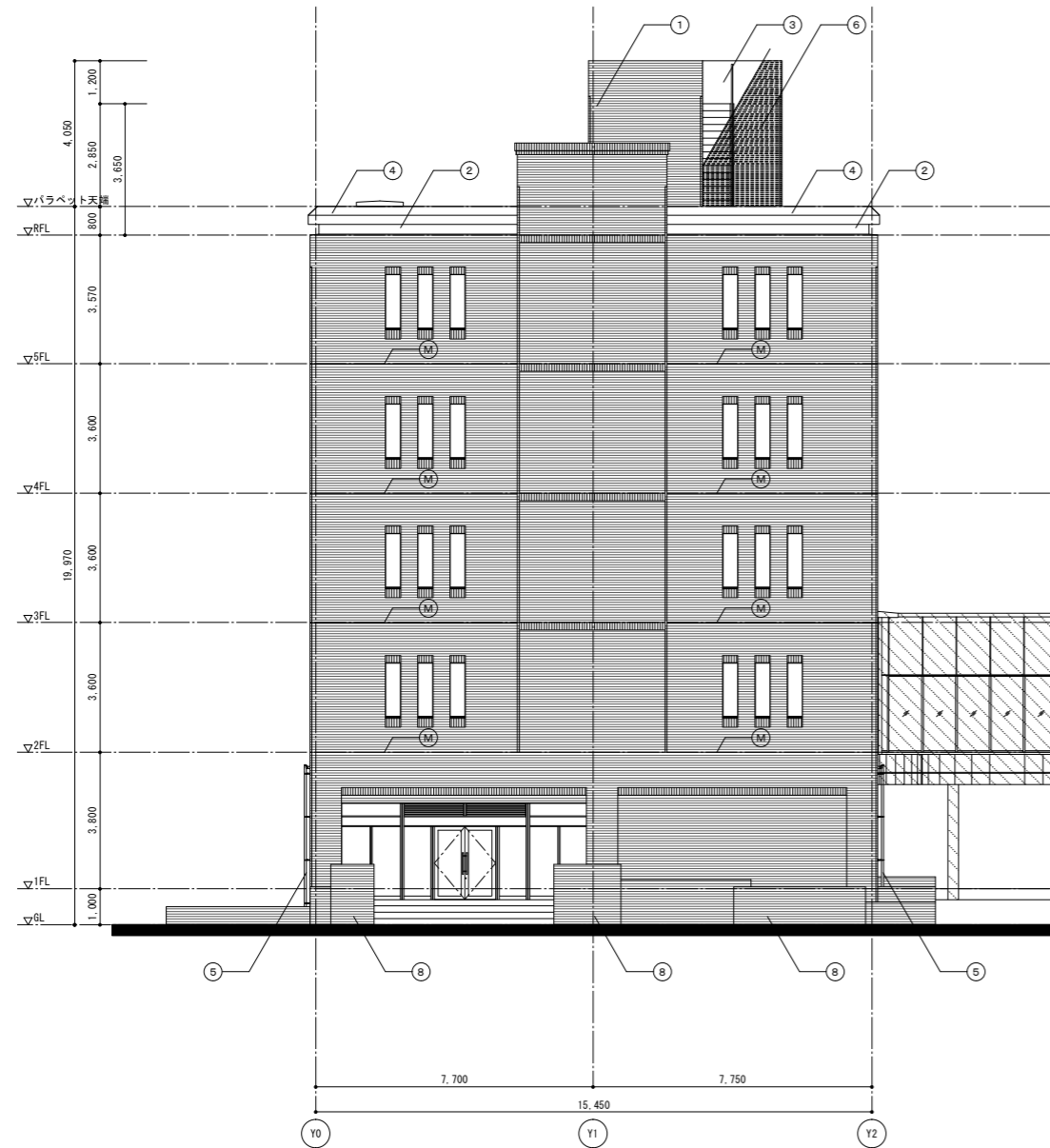
工事名 京都大学（南部）総合研究棟（医学部C棟）等改修その他機械設備工事		図面番号
図面名称 立面図(1) (改修前後)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	設計日 令和8年7月
		11



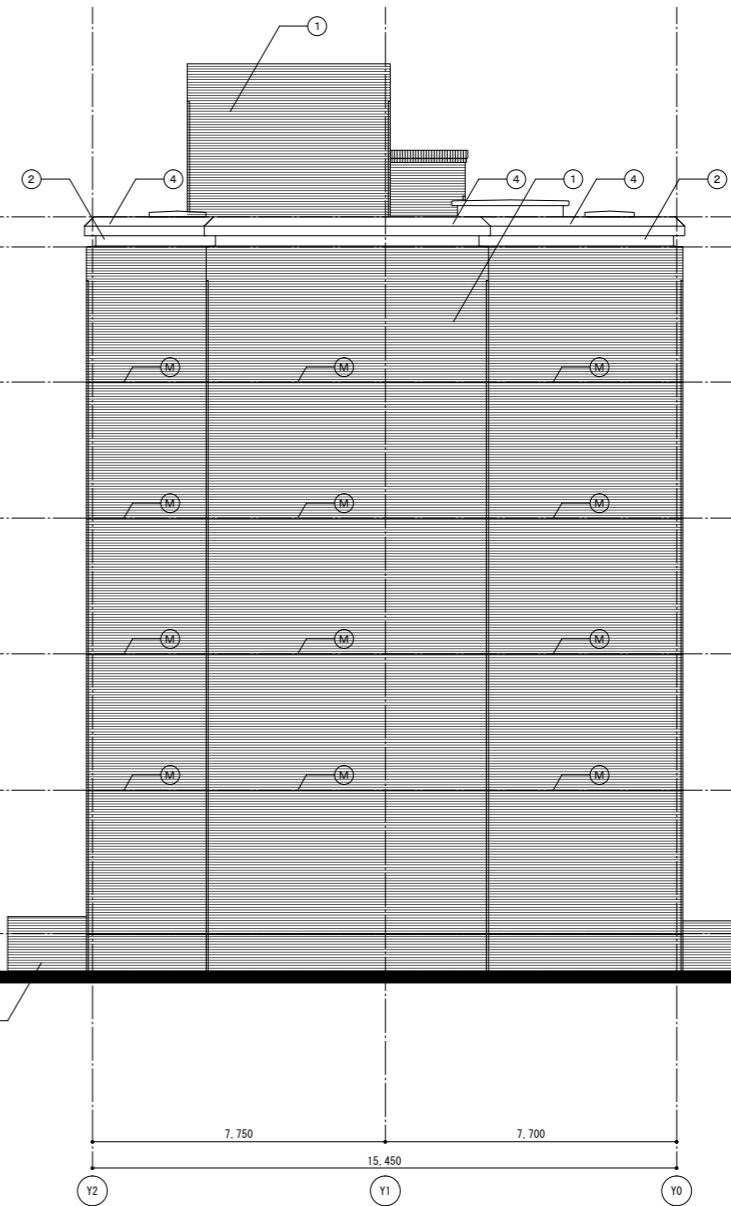
改修前 北面 立面図 S=1/100

記号	改修前 仕上凡例	改修後 仕上凡例	記号	改修前 仕上凡例	改修後 仕上凡例
①	せつ器質レンガタイル張り	高圧水洗、コンクリート含浸防水材塗布	⑥	屋上目隠し：L-30×30×3 FE	鉄部はすべて、DP塗替
②	コンクリート打放しの上、アクリルクリヤー吹付	高圧水洗、下地調整の上、フッ素樹脂吹付	⑦	屋外階段目隠し：FB-32×4.5 デュラクロン焼付	鉄部はすべて、DP塗替
③	コンクリート打放しの上、複層塗材E	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材E	⑧	フラワーボックス：せつ器質レンガタイル張り	高圧水洗
④	ボンデ鋼板t=2.3加工デュラクロン焼付	既存のまま、塗装	⑭	伸縮目地：ポリサルファイドシーリング20×10	シーリング撤去・新設
⑤	壁柱：SGPφ50 SOP(組み金物：φ1.200内外)	DP塗替	▼	「非常用出入口に代わる窓」の標示	標示シール撤去・新設

工事名		京都大学（南部）総合研究棟（医学部C棟）等改修その他機械設備工事		図面番号
図面名称		縮尺	設計日	12
立面図(2) (改修前後)		A1:1/100 A3:1/200	令和8年7月	



改修前 東面 立面図 S=1/100



改修前 西面 立面図 S=1/100

記号	改修前 仕上凡例	改修後 仕上凡例	記号	改修前 仕上凡例	改修後 仕上凡例
①	せつ器質レンガタイル張り	高圧水洗、コンクリート含浸防水材塗布	⑥	屋上目隠し：L-30×30×3 FE	鉄部はすべて、DP塗装
②	コンクリート打放しの上、アクリルクリヤー吹付	高圧水洗、下地調整の上、フッ素樹脂吹付	⑦	屋外階段目隠し：FB-32×4.5 デュラクロン焼付	鉄部はすべて、DP塗装
③	コンクリート打放しの上、複層塗材E	高圧水洗、下地調整の上、複層塗材E	⑧	フラワーボックス：せつ器質レンガタイル張り	高圧水洗
④	ボンデ鋼板t=2.3加工デュラクロン焼付	既存のまま、塗装	⑨	伸縮目地：ポリサルファイドシーリング20×10	シーリング撤去・新設
⑤	壁柱：SGPPφ50 SOP(組み金物：φ1,200内外)	DP塗装	▼	「非常用出入口に代わる窓」の標示	標示シール撤去・新設

工事名 京都大学（南部）総合研究棟（医学部C棟）等改修その他機械設備工事		図面番号	
図面名称 立面図(3)（改修前後）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	設計日 令和8年7月	13